資料４

“学校規模の適正化”と”小中一貫教育の推進”

令　和　６　年　７　月
川島町教育委員会

目　次

１　はじめに　・・・1

２　児童・生徒の推移と教育環境の整備・・・3

３　小中一貫教育校の整備イメージ　・・・5

４　小中一貫教育を進める背景・理由　・・・6

５　小中一貫教育とは　・・・7

1　はじめに

これまで（～令和3年度）の取組

将来の児童・生徒数を見込みながら、小規模校の教育環境の整備を図るため、

「学校規模の適正化」を進めてきました。

※　平成３０年３月に、三保谷・出丸・八ッ保・小見野小学校を廃止し、
同年４月につばさ南小学校・つばさ北小学校を開校しました。

平成３０年度から令和３年度の４年間に、**「川島町小中一貫教育推進協議会」で、小中一貫教育の推進について検討しました。**

これから（令和4年度～）の取組

将来の児童・生徒数を見込みながら、**今後も、「学校規模の適正化」に取り組むとともに、**さらに質の高い教育活動を展開するため、**『小中一貫教育』（小中一貫教育校の整備）を進めます。**

2　学校規模の適正化について

□基本的な考え方

児童が、集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえると、**一定の集団規模が確保されていることが望ましい。**

□学校規模の基準

1学年2学級を基本としつつも、1学年単学級でも、学級運営に支障のない程度の人数（20名程度）が確保

□学校規模適正化の対象校

これまでは、**三保谷・出丸・八ッ保・小見野の4小学校**の小規模校化（※）が顕著だったので、4小学校を対象としました。

※　全学年すべて1クラス、児童数1桁のクラスあり、男女間の数にアンバランス、複式学級の可能性）

3　児童・生徒数の推移　と　教育環境の整備

20年間で、児童生徒数が半減

（約1,500人）

【H24～26】学校規模適正化の検討
【H27】適正化方針について説明

【H28～29】
三保谷・出丸・八ツ保・小見野の4校を2校に統合準備

【H30.4開校】
つばさ南小
つばさ北小

【H30～R3】小中一貫教育の検討
【R4】小中一貫教育の推進について説明

	学校名	H5	H14	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
川島中学校区	三保谷小	219	139	76	77	83	81	71	73	－	－	－		
	出丸小	154	109	87	86	87	86	79	76	－	－	－		
	八ツ保小	164	120	100	86	90	72	74	71	－	－	－		
	小見野小	172	136	101	98	90	94	91	93	－	－	－		
	つばさ南小	－	－	－	－	－	－	－	－	138	131	115	114	113
	つばさ北小	－	－	－	－	－	－	－	－	147	150	142	147	140
	川島中	560	437	295	291	276	272	274	270	250	221	223	207	212
	合計	1,269	941	659	638	626	605	589	583	535	502	480	468	465

	H5～H14（9年）	H14～H24（10年）
増減数(人)	▲ 328	▲ 282
増減率(%)	▲ 25.8	▲ 30.0

	H24～R4（10年）
増減数(人)	▲ 194
増減率(%)	▲ 29.4

	学校名	H5	H14	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
西中学校区	中山小	825	474	361	380	353	343	317	308	303	281	261	258	238
	伊草小	501	404	362	334	335	313	295	265	257	269	262	267	258
	西中	571	423	290	281	274	279	289	271	261	245	240	238	230
		1,897	1,301	1,013	995	962	935	901	844	821	795	763	763	726

	H5～H14（9年）	H14～H24（10年）
増減数(人)	▲ 596	▲ 288
増減率(%)	▲ 31.4	▲ 22.1

※平成5年度に、川島中と西中が分離しました。

	H24～R4（10年）
増減数(人)	▲ 287
増減率(%)	▲ 28.3

	学校名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R7～R12（5年間）	
	【R5～6】つばさ南小とつばさ北小の統合準備										増減数	増減率
川島中学校区	【R5～6】統合小「つばさ小」と川島中による『施設一体型・小中一貫教育校』のスタート準備				【R7～】『施設一体型・小中一貫教育校』スタート							
	つばさ南小	児童数　人	103	107	－	－	－	－	－	－	－	－
		学級数（通常学級）	6	6	－	－	－	－	－	－	－	－
	つばさ北小	児童数　人	125	130	－	－	－	－	－	－	－	－
		学級数（通常学級）	6	6	－	－	－	－	－	－	－	－
	つばさ小	児童数　人	－	－	**231**	223	211	200	185	**153**	▲ 78	▲ 33.77
		学級数（通常学級）	－	－	**10**	10	9	8	8	**7**	▲ 3	
	川島中	生徒数　人	202	189	**188**	180	193	183	171	**162**	▲ 26	▲ 13.83
		学級数（通常学級）	6	6	**6**	6	6	6	6	**6**	0	
	合計（小・中学校）	児童・生徒数　人	430	426	**419**	403	404	383	356	**315**	▲ 104	▲ 24.82
		学級数（通常学級）	18	18	**16**	16	15	14	14	**13**	▲ 3	

	学校名		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R7～R12（5年間）	
	【R5～6】中山小と伊草小と西中による『施設分離型・小中一貫教育校』のスタート準備				【R7～】『施設分離型・小中一貫教育校』スタート						増減数	増減率
西中学校区	**中山小**	児童数　人	218	200	**200**	203	176	173	176	**174**	▲ 26	▲ 13.00
		学級数（通常学級）	8	7	**7**	7	6	6	6	**6**	▲ 1	
	伊草小	児童数　人	243	235	**228**	218	188	175	167	**161**	▲ 67	▲ 29.39
		学級数（通常学級）	9	9	**8**	7	6	6	6	**6**	▲ 2	
	西中	生徒数　人	217	201	**194**	183	195	181	162	**126**	▲ 68	▲ 35.05
		学級数（通常学級）	6	6	**6**	6	6	6	5	**5**	▲ 1	
	合計（小・中学校）	児童・生徒数　人	678	636	**622**	604	559	529	505	**461**	▲ 161	▲ 25.88
		学級数（通常学級）	23	22	**21**	20	18	18	17	**17**	▲ 4	

4　小中一貫教育校について

令和7年度～

施設分離型・小中一貫教育校（西中学校区）

中山小学校

R7児童数　200人
学級数　7学級

連携・交流

西中学校

R7生徒数　194人
学級数　6学級

伊草小学校

R7児童数　228人
学級数　8学級

連携・交流

施設が離れていながらも、小・中学校が互いに連携・交流しながら、共同で授業や行事等を行います。
伊草小学校は川島中学校とも連携・交流します。

施設一体型・小中一貫教育校（川島中学校区）

小中一貫教育校
（川島中学校内）

つばさ南・つばさ北小の統合校
『つばさ小学校』
R7児童数　231人
学級数　10学級

川島中学校
R7生徒数　188人
学級数　6学級

小学校5、6年生は現在の川島中学校の校舎に入り、小1～4年生は、新たに増築する校舎（小学校低学年棟）に入る計画です。

【施設分離型とは】

小・中学校の校舎、敷地が独立しながらも、教職員と地域の密接な連携により、小中一貫教育を実施する学校

例）

【施設一体型とは】

小・中学校の校舎が、同一敷地内にあることを活用して、**小中一貫教育を実施する学校**

※　校舎が小・中学校で別々であっても渡り廊下で繋がっているものも含む。

例）

5　小中一貫教育を進める背景・理由

子どもたちを取り巻く厳しい社会環境

国際化、情報化の進展、価値観の多様化　など　→　**急速に、複雑に変化し続ける社会**

これからの子どもたちに求められる知識・技能

質の高い学力、論理的・柔軟な思考力、新たな問題を解決する力、他者にわかりやすく伝えられる表現力、コミュニケーション力など

まなびの変化

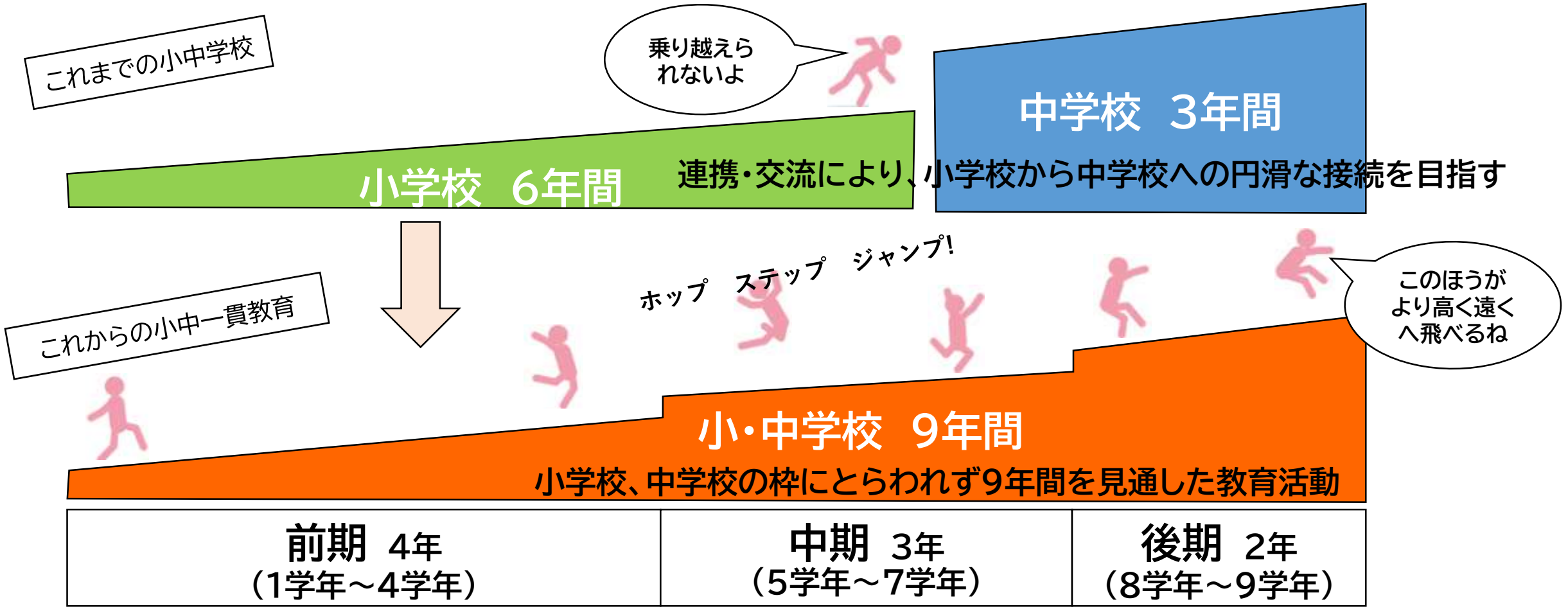
画一的（講義形式）な学び　→　**主体的・対話的な学びへ、個々の資質に合わせた指導へ**
語学力・ICT技能の習得なども

教員の意識改革・能力向上

教員の指導力の向上が必要　→　小・中学校の教員同士の学び合い、9年間を見通した子ども像の共有による意識改革　→　小中一貫教育の推進

6　小中一貫教育とは

小・中学校の教員が、目指す子ども像を共有するとともに、
9年間を通じた教育課程を編成し、**系統的な教育を目指す**ものです。



川島町小中一貫教育基本方針 （町全体）

令和5年7月教育委員会策定

【町全体の小中一貫教育の目的】

小学校・中学校・家庭・地域が一体となって『夢を育み、未来へはばたく川島っ子』を育成する

【小中一貫教育で目指す児童・生徒像】

〇夢や目標に向かい、主体的に学ぶ子
〇多様性を認め合い、共に生きる子
〇地域社会の一員として、未来を切り拓いていく子

【小中一貫教育で求められる教師像】

□教育公務員としての高い自覚と使命感を持った教師［資質・人間性］
□児童生徒に寄り添い、一人一人の個性と学びを伸ばす教師［生徒指導･学習指導］
□社会の変化に対応し、教育環境を構築する教師［対応力］
□保護者や地域から信頼され、学校づくりに積極的に参画する教師［信頼･組織人］

小学校　6年間

中学校　3年間

9年間を見据えた
学校経営ビジョン

成長見届け
小学校教員

成長過程把握
中学校教員

乗入れ授業　小中学校教員の交流

9年間を見通した教育課程　：**教科等の指導の系統性**（各教科･総合的な学習の時間･特別活動･特別の教科　道徳）
学校行事の拡大（例　合同運動会　合同文化祭　等）　**生徒指導･キャリア教育の充実　等**

地域と共にある学校づくり

PTA･地域住民

部活動体験

あこがれ

思いやり

コミュニティスクール
（学校運営協議会制度）

川島町マスコットキャラクター
かわみん　　かわべえ